

議 事 録

| | |
|-------|---|
| 会議の名称 | 第2回羽村市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画審議会 |
| 開催日時 | 令和5年5月25日(木) 午後7時～ |
| 開催場所 | 羽村市役所4階 特別会議室 |
| 正副会長 | 川村孝俊会長 川津紘順副会長 |
| 出席委員 | 川村孝俊、横内正利、中村正人、五十嵐寛人、田畑正彦、川津紘順、浅野光男、奥平睦美、中土善雄、栗原悦男、佐藤直人、小川麻紀、渡辺あや子、野口和 |
| 欠席委員 | 成沢崇志 |
| 事務局 | 福祉健康部長、高齢福祉介護課長、高齢福祉係長、介護予防・地域支援係長、介護保険係長、介護認定係長、高齢福祉係主事、介護予防・地域支援係主任、介護保険係主任、介護認定係主事、策定支援業者1名 |
| 会議内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第9期計画の基本指針について (2) 羽村市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査結果について (3) 羽村市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定にかかる事業所ヒアリング実施結果について 3 事務連絡 |
| 会議資料 | <p>資料9 羽村市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査結果報告書(案)</p> <p>資料10 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(追加クロス集計)</p> <p>資料11 羽村市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定にかかる事業所ヒアリング実施結果まとめ</p> <p>資料12 第9期計画の基本指針について</p> |

第2回羽村市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画審議会 議事録

| 発 言 者 | 議 題 ・ 発 言 内 容 及 び 決 定 事 項 |
|-------|---|
| 事 務 局 | <p>1 開 会</p> <p>ただ今より、第2回羽村市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画審議会を開催します。</p> <p>(資料の確認)</p> |
| 会 長 | <p>2 議 事</p> <p>次第に沿って議事を進行してまいります、その前に事務局にお伺いします。本日の傍聴希望者はいらっしゃいますか。</p> |
| 事 務 局 | <p>傍聴希望者はいません。</p> |
| 会 長 | <p>(1)「第9期計画の基本指針について」に関して、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事 務 局 | <p>(1)「第9期計画の基本指針について」 (資料12に基づき説明)</p> |
| 会 長 | <p>今日初めて目にする資料かもしれませんが、ご質問・ご意見等いただければと思います。いかがでしょうか。</p> |
| 委 員 | <p>2ページに記載のPDCAとは何ですか。</p> |
| 事 務 局 | <p>PDCAとは計画を立てるPlan、実行するDo、その評価としてのCheck、そして改善に向けて行動に移すActionの頭文字を取ったもので、サイクルとはそれを順繰りに回していくという意味です。計画をつくっておしまいではなく、内容を振り返り、さらに改善に向け深めていくという作業を指しているものとなります。</p> |
| 委 員 | <p>希望でございますが、特に1・2ページの字が小さく高齢者には読みづらいので、もう少し大きくしていただければと思います。</p> |
| 会 長 | <p>確かに小さいですね。内容が盛りだくさんなので仕方ない面もありますが、場合によってはページを分けるなどのことをしていただけるとよろしいかと思えます。</p> |
| 委 員 | <p>3ページに「3 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保」とありますが、介護人材とはどういう人のことを指すのでしょうか。</p> <p>この項目の最後に「介護サービス事業者の財務状況等の見える化を推進」とありますが、誰に対して見える化を行うのですか。</p> <p>4ページ「2 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組」の5点目に「重</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>事務局</p> | <p>層の支援体制整備事業などによる障害者福祉や児童福祉など他分野との連携促進」とありますが、具体的にどういうことを指すのか、イメージを教えてくださいと思います。</p> <p>まず、介護保険事業支援計画というのは都道府県レベルで策定する計画でございます、そのレベルでの施策も対象に検討がなされています。したがって、市町村でできることと都道府県レベルですべきものが若干混在している部分がある旨お含みおきください。</p> <p>介護人材につきましては、介護保険事業を推進するあらゆる職種の方が対象で、具体的にはケースワーカーや施設内で支援する方々も含むと考えております。</p> <p>介護サービス事業者の財務状況等の見える化については、利用者が公平・安全にサービスを使えるよう公開情報をさらに充実させていくこと等を指しているかと思えます。</p> <p>重層的支援体制整備事業などによる障害者福祉や児童福祉など他分野との連携促進については、これまでの縦割りで施策ではなく、高齢者分野のみならず障害者福祉や児童福祉など他分野との垣根を越えて共通の課題を横串にして事業を展開することを可能にする取組を指しています。国は複数分野にまたがる事業をひとまとめの申請で予算付けしていくことを可能にするため、重層的支援体制整備という方向性を打ち出しました。これは施設整備に限らず、相談の窓口づくりや居場所づくり、交流の場づくりなど、さまざまな用途が想定されたものとなっております。</p> |
| <p>会長</p> | <p>基本的に利用者側が事業者の財務状況を見られるということですか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>例えば福祉施設に入居する際や多額の保証金を提示する際に経営基盤がどうなっているか見える化したほうが利用者側も安心できるという観点から書かれているものではないかと考えます。現段階ではこの文言から国の意図を正確に読み取ることができておりません。</p> |
| <p>会長</p> | <p>社会福祉法人はすべて財務諸表を公開していますよね。一般事業所等の話なのでしょうか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>補足いたします。今回の基本指針が出る前、昨年12月20日に社会保障審議会の介護保険部会において第9期に向かっての介護保険制度の見直しに関する意見が出されています。そこからの情報をもとに第9期の改正基本指針の項目立てがされているのですが、この中の「財務状況等の見える化」という項目を読み上げさせていただきます。</p> <p>○ 介護サービス事業者について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護サービス事業者の経営状況をもとに、国民に対して介護が置かれている現状・実態の理解の促進 |

| | |
|--------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス事業者の経営状況の実態を踏まえた、効率的かつ持続可能な介護サービス提供体制の構築のための政策の検討 ・物価上昇や災害、新興感染症等に当たり経営影響を踏まえた的確な支援策の検討 ・実態を踏まえた介護従事者等の処遇の適正化に向けた検討 ・介護報酬に関する基礎資料である介護事業実態調査の補完 <p>に活用することが可能となるという観点から、経営情報を収集・把握することは重要である。また、介護サービス事業者側も、マクロデータを自事業所の経営指標と比較することで、経営課題の分析にも活用可能と考えられる。</p> <p>これらが意見として出されています。今後の介護給付費分科会で法改正の部分が出てこないと具体的にどういったことをするのが見えてきませんので、今後情報収集に努め、分かった段階でお知らせいたします。</p> <p>また、地域包括ケアシステムを支える介護人材というのは、地域に住まいがある暮らしの中で医療や介護、地域での活動等が提供される体制での人材のことです。基本的には在宅の方への支援がメインですが、施設に入所するときもありますので、そこで介護人材の確保という全体が見えてくるかと思っております。この辺りも今後の介護給付費分科会で出す最終結論の中で見えてくると思うので、どういった書き込みをしていくかについて、また検討が必要になると考えます。</p> <p>重層的支援のイメージにつきまして、障害や高齢、生活困窮等で相談に来る方は大勢いらっしゃるのですが、例えば息子さんが高齢の親御さんの相談に来たら実はその息子さんがひきこもりというケースもあります。そういったものを漏れなく支援につなげられるように横串をさして福祉分野で重層的な支援をしていこうということで国が音頭を取っていますので、羽村市もそれに向けて今後どういった取組ができるかを検討していくところでございます。</p> |
| <p>会 長</p> | <p>意味が分かりにくいような文章や言葉もあって、なかなか難しいですね。</p> |
| | <p>他にご質問・ご意見ございますか。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>ちょっと違う角度からの質問です。3・4ページにそれぞれ「中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込み等を適切に捉えて」と書かれていますが、中長期とはどういうところを見ているのですか。また、高齢者福祉計画にも中長期的という考え方が生きてくるのでしょうか。要は中長期とは何かということをお願いしたい。</p> |
| <p>事 務 局</p> | <p>第8期には団塊の世代がすべて後期高齢者に移行する2025年と団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040年、この2つのポイントを見据えながら将来的な介護サービスについて検討するようにと国が示していました。こういった中、2025年は第9期計画に到来してくる年になりますので、2040年辺りを見据えていくというところを中長期と捉えていただければよいかと思います。</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>多分そう答えられると思ったのですが、福祉計画においても同じような考え方になるのでしょうか。2040年ぐらいまで広げる形で福祉計画についても議論するのかどうか、それが一番知りたいところです。</p> |
| 事務局 | <p>高齢者人口がどんどん伸びていく自治体もあれば、地方の過疎地等では既に減っている所もあります。ですので、2040年辺りまでに介護基盤をもっと増やすのか、それとも減らしていくのかということを見据える必要がございます。この3か年でのどのくらいの基盤を整備するかを検討するため2040年を見据えることが国の指針として出ています。</p> |
| 委員 | <p>介護のことについてはそうだろうと理解しています。それが福祉計画にまで反映されるかどうかを知りたかったのですが、今後出される資料に基づいて議論していきたいと思います。</p> |
| 会長 | <p>高齢者福祉計画も当然3年で終わりというわけではありません。もっと先を見据えた形の議論の中、この3年間でどうするかということで、介護保険事業計画と同じような見方かと思います。今後いろいろな案件が出てくる中、また皆様のご意見を頂戴できればと存じます。</p> <p>他にはいかがですか。</p> |
| 委員 | <p>4ページ「3 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上の推進」の3点目に「外国人介護人材定着に向けた介護福祉士の国家資格取得支援等の学習環境の整備」とあります。現在、羽村市及び近郊の市町村でこのような例はございますか。</p> |
| 事務局 | <p>現状、そういうことを具体的にされているところはないと思います。日本語学校から人材を受け入れるのはどうですかというご案内があり、事業所さんで受け入れているのが現状です。羽村市にも日本語学校が出来まして、そことの橋渡しはさせていただいたのですが、なかなかハードルが高く簡単にはいかないという意見をいただいております。先ほどご説明しましたように都道府県がするものと市町村がすることがまだ混在していますので、今後都道府県レベルで外国人介護人材を育成していくということがあがってくるのではないかと捉えています。</p> |
| 委員 | <p>施設の職員さんが待遇面等で離職されることが多いという現状もあって、将来的には外国人の方々のマンパワーにも頼っていかねばならない時代が来ると思います。そのためにも、外国人の方が介護事業等の現場できちんと働けるような環境について今から議論を進めていかねばならないと考えます。</p> |
| 会長 | <p>他にいかがですか。</p> |

| | |
|------------|---|
| <p>委員</p> | <p>今の外国人人材に関して、うちの特養の例をお話しします。昨年度ミャンマーから特定技能実習生を5名受け入れました。特定技能の介護のために介護福祉士の資格を取得してもらおうのですが、支援そのものは法人等で個別に行っている状況です。他の特養ですとむさしの園さんではEPAに基づいて受け入れをされるなど、それぞれいろいろな形で外国人が入ってきていますが、法人独自での対応となります。先ほど事務局から市内に日本語学校が出来たという話がありましたが、市の橋渡しにより、そこからフィリピンの方を神明園で1名雇用しました。その方の日本語の習熟と介護技能の向上については法人ごとの課題になってしまっているような状況ですので、こういった支援計画が出来ることを非常に有り難く思います。</p> |
| <p>会長</p> | <p>では、次の議事に移ります。(2)「羽村市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査結果について」、そして(3)「羽村市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定にかかるヒアリング実施結果について」ですが、これは関連がありますので、併せて事務局から説明をお願いします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>(2)「羽村市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査について」 (資料9・10に基づき説明) (3)「羽村市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定にかかるヒアリング実施結果について」 (資料11に基づき説明)</p> |
| <p>会長</p> | <p>ただ今説明のあったアンケートやヒアリングの実施結果から課題を取りまとめることになるかと思えます。皆さんからご意見をいただきたいのですが、その前に今日ご欠席の委員からいくつかコメントが寄せられているようですので、事務局よりご紹介ください。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>本日欠席されている成沢委員から資料9についていくつかコメントをいただいておりますので、読み上げさせていただきます。</p> <p>(1) P6「居住地区をお教えください」 不明・無回答は85～89歳が極端に増える。 前回どなたかが「年々回答率が下がっている原因は何か」と質問していたが、回答者に占める85～89歳の割合が上がったからではないか。</p> <p>(2) P14～21「2 からだを動かすことについて」 すべて自己診断による回答だが、家族を見ていると介護度判定のときに限って普段やらないぐらい頑張って必要以上に介護度を下げている。 恐らく実態より見栄を張った回答ではないだろうか。</p> |

| | |
|------------|--|
| | <p>高齢者が正しく自分の状態を認識できるよう、体力測定を実施してほしい。毎年行うことで、自分の体力の衰えを理解し、運動の必要性を実感できる。 (合わせて認知症診断も是非)</p> <p>(3) P57～「5 地域での活動について」 今回はコロナ禍であったことを考慮すると、前回と比較して変わらないのが意外。 (もしかすると前回調査のときもコロナ禍だったのか)</p> <p>(4) P76～77「家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください」 「そのような人はいない」が一番多く4割前後を占めるのは問題だと思うが、私自身親の介護に突入したときは突然で訳が分からず、全く準備ができていなかった。 家族の不幸に準備ができている人はいない。 おせっかいな役が必要。</p> <p>(4) その他 東洋経済オンライン「長寿者が多い『5大地域』で判明した意外な共通点」 記事に「ブルーゾーン(100歳超えの長寿者が多く暮らすエリア)の長寿者たちは共通して家族とのつながり、友人知人とのつながり、地域社会とのつながりが強固」とあり、今回の調査内にある地域とのつながり、家族友人とのつながりが健康寿命に重要とある。 羽村市で、つながりをもてる「文化」を育めると望ましい。</p> <p>このような5点の意見がございました。</p> |
| <p>会 長</p> | <p>いろいろなご意見をいただきましたが、皆さんからもご意見等いただければと思います。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>資料9の63ページ、町内会・自治会についてですが、アンケートの対象者が町内会・自治会に加入しているのか、それとも未加入なのかというところまでは分かりませんよね。町内会連合会としても加入促進や退会者の引き留めについて議論しています。加入していても身体的な理由等で催しには参加できない方もいますが、加入していただくことによって地域の絆が育まれるので、それはそれでよいと思います。次回もこのような調査をするのでしたら、加入済か未加入かという点まで踏み込んだ質問をしていただくようお願いします。</p> |
| <p>会 長</p> | <p>加入済か未加入なのかも知りたいですし、町内会に入っていることで感じるメリット・デメリットも聞きたいところです。</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>委員</p> | <p>他にございますか。</p> <p>感想を述べさせていただきます。私は社会参加というところに一番興味があって、その数字をできるだけ見るようにしていますが、今回の調査で気になったのは資料9の65ページです。地域づくりの活動への参加について「既に参加している」という回答者の割合が4.4%しかありません。それでいながら、5割以上の方が「ぜひ参加したい」「参加してもよい」と答えており、これは非常に注目すべきことだと思います。提供されている色々な地域活動に魅力を感じていないのか、説明しきれていないのか、そういう実態がこの数字に表れているのではないかと感じたわけです。</p> <p>もう1つ気になるのが66ページ、地域づくりの活動に企画から参加してもよいと答えている人が3割に満たないことです。誰かが企画してくれれば参加してもよいという実態が出ています。この辺りが今後の議論のポイントになってくるかと思いました。</p> |
| <p>会長</p> | <p>貴重な読み取りをありがとうございました。</p> <p>他にご意見等ございますか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>資料9の134ページ、事業所調査の間3-(6)現在の施設等での勤務年数の集計結果が1年以上と1年未満になっています。1年以上の内訳が細かく区切られていない理由があれば教えてください。事業所調査においては退職理由や続かない要因を聞く項目が結構ありますが、長期にわたって雇用されている人がなぜその事業所に残っているのかという調査をされている例がほとんど見当たりません。退職の理由を尋ねることも必要ですが、仕事を続けている人がどういうモチベーションで事業所に残っているのかという調査も必要だと思います。</p> <p>資料12の2ページ「第8期の基本指針の構成」の中に「災害に対する備えの検討」とあります。第8期においては高齢者の災害対策があまりうまくできていないと感じたのですが、第9期計画策定のための調査対象者に災害時の不安を聞いていないことに何か理由はありますか。3ページの「第9期計画の基本指針のポイント(案)」の中に災害対策が全然入っていませんが、第9期ではその辺りが軽視されていると理解してよいのですか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>資料9の134ページ、現在の施設等での勤務年数についてですが、国で示されている調査項目の回答として1年以上か1年未満かの二択だけになっております。1年以上の方についての内訳を細かく設ける形、例えば2年以上、3年以上といったことはこの調査の中では触れられていないものになります。</p> |
| <p>会長</p> | <p>災害対策についてはお答えができませんか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>アンケートの項目で災害について聞くことがあればお伺いしたいと思います。</p> |

| | |
|------------|---|
| <p>委員</p> | <p>自然災害が頻発している中、例えば「Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果」のところで災害に対する不安について聞く項目がなぜないのかというのが大きな疑問であります。国が定めた調査がこれだというならそこまでの話なのでしょうが、施設側としては個別避難計画も含め高齢者の災害対策をどうしていくのかという全体像を知りたいと思います。しかし、そういったことに対するニーズがどこにも出てこないため何を基に考えていけばよいのか分からないというのが正直なところです。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>確かに災害対策につきましては前回計画の審議会でも話題に上っていました。防災安全課で災害に関する計画等を策定しておりますので、そちらとの整合性を図りながら今回の計画にも入れていきたいと思っております。ニーズ調査のメニューはあくまで国から示されているものでして、そこに災害に関する設問は入ってございません。3年後等々のアンケート調査実施の際、もし必要があれば内容の検討はさせていただきたいと思っておりますが、今回に関しましてはそのような状況でございます。</p> |
| <p>委員</p> | <p>今後を考える中、喫緊の課題だということを第8期から申しているのですが全く反映されておらず、施設側と市で話し合う機会はあるものの、それが定期的開催されるわけでもありません。市民が何を不安に感じているかを漠然と捉えながら施設側が災害対策を行うのは非常に不本意で、かつ無駄も多くなります。そういった市民ニーズを施設側に提示してもらえると我々としても予算のかけようがあるし協力もできますので、早急に改善していただきたいと思っております。</p> <p>先ほどの資料9、134 ページ問3－(6)、1年以上の件について、国がそういう調査方法を提示していることは分かったのですが、1年しか区切りがない中、どういう分析結果を出したいと考えているのでしょうか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>1年未満の方につきましては次の問3－(7)現在の施設等に勤務する直前の職場について回答していただく形になっています。転職してから間がない方に関して、どういう職種からの転職か、あるいは初めての就職かといった辺りを調査しまして、どのような方が介護職を選んだのか、または介護の仕事を継続しているのかというような傾向を調べるための設問だと認識しております。</p> |
| <p>委員</p> | <p>離職率の調査とは全く関係ないということでしょうか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>現在の施設等での勤務年数という問3－(6)及び問3－(7)については特に離職率を見るような設問ではないと認識しております。</p> |
| <p>会長</p> | <p>調査の意図がはっきりしないところもちろんありますが、この中から読み取れる部分は課題として計画に反映していければと思います。災害時のことについても、このアンケートにはありませんが、例えば地域福祉計画も同時進行で動いていますので、恐らくそこでは今おっしゃったような内容の調査をされているはずで</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>委員</p> | <p>のデータの中で高齢者福祉計画に活用できるものがあれば出していただけると有り難いと思います。</p> <p>1点確認させてください。第9期の介護保険事業計画では災害対策というものはなくなるのですか。資料12の基本指針にも第9期計画において記載を充実する事項のところでも全く文言がありません。第8期からの継続はどのようになっているのですか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>第8期でも特にアンケートの中に災害について入っていたわけではありません。基本的にアンケートの項目につきましては、国として経年や全国の状況を捉えたいということで、第8期とほぼ同じ構成になっている部分もございます。第8期計画の作成に関する事項として「災害に対する備えの検討」「感染症に対する備えの検討」とありますが、令和2年度に基本指針が示されており、その頃に感染症が発生したので、どちらかという後付けに近いような形です。災害についても、当時にゲリラ豪雨があった関係で、それも併せて備えの検討を書き込むようにと示されましたが、そのときも内容としては濃いものではありませんでした。第9期については、その書き込んだものを前提として今後基本指針が示されてくるものと捉えております。ただ、高齢者福祉計画・介護保険事業計画は3か年の計画で、どちらかという実施計画寄りですので、新たな感染症が発生する可能性も鑑みながら、そういった部分での書き込みをどうしていくかについて、この審議会でご検討いただければと思います。</p> |
| <p>委員</p> | <p>災害対策の話をお聞きする中で記憶が甦りました。第8期計画は2020年に立てています。その前年の2019年10月頃に台風19号が発生し、羽村市も全市的に避難指示が出る中、特に線路向こうの小作台小学校では避難者が入りきれなくて他の避難所に行ってもらいました。そんなことがあった翌年に第8期計画を立てたので、災害対策も入っていたような、うっすらとした記憶があります。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>地域防災計画もその辺りを踏まえた形で何度も改訂しております。基本的には市の防災に関する計画は地域防災計画が本体になりますので、その点お含みおきいただければと思います。</p> |
| <p>会長</p> | <p>それでは、本日予定していた議事はこれですべて終了となります。皆さん、円滑な進行にご協力いただき、ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>3 事務連絡</p> <p>第3回審議会は、7月20日（木）午後7時から市役所特別会議室で開催しますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、第2回羽村市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画審議会を閉会します。ご協力ありがとうございました。</p> |

| | |
|--|----|
| | 以上 |
|--|----|